

◆ 来春植林予定地医王寺を下見

8月31日、来春古賀市植樹祭の予定地である医王寺の現地を古賀市10万本ふるさとの森づくり実行委員長である薛先生、緑のまちづくりの会5名、市役所2名で現地の現況と区域を下見しました。

現地の竹林は現在業者が伐採搬出中ですが、伐採の進行がやや遅れ気味でした。

植林予定地のモウソウダケは10月末までに伐採搬出を終わる予定にしています。計画では搬出を終わり次第、測量を進め、植栽樹種、本数を決めることになります。



◆ はなちどい だより



9月のシルバーウィーク、丁度お彼岸でしたが、はなちどい花壇上段の曼珠沙華が見事に咲きました。周りのひまわりの黄色と、根元のポーチュラカが色彩のアンサンブルを醸し出しています。

道路側のひまわりは終わり、世代交代したコスモスが、みんなの水かけのお蔭で元気に花の準備をしているようです。またハウスの中ではパンジー、ビオラやハボタン等が出番を待っています。

これから秋の花の季節になります。人を癒し、人をつないでくれる花を街中に広げましょう。

まつり古賀にむけて、コケ玉やその置き皿の製作を行います。日にちは予定表を見てください。

◆ 医王寺で竹炭材を伐る

9月18日、緑の会員6名と園芸福祉ふくおかネット3名の協力によって、医王寺の竹を伐採しました。ふくおかネットの皆さんはアイランドシティの庭園づくりの竹材資材を伐り、緑の会は植樹祭の記念品とする竹炭資材の調達でした。

緑の会員がチェーンソーで定尺に切断していましたが、途中でチェーンソーが故障するというハプニングに遭い、現地で竹伐りに従事する業者の方に支援を頂く羽目になりました。さすがプロの作業は手早く、ふくおかネットと共に、どうにか緑の会は目標の2窯分の竹炭資材量を手に入れ、午後、緑の会員3名によってグリーンパークの炭窯まで竹炭材を運び届けました。

◆ アイランドシティのグリップーキャンペーン

10月31日(土)・11月1日(日)福岡市の全国都市緑化フェアの後継催事[グリップーキャンペーン2009]がアイランドシティ中央公園で開催されます。園芸福祉も五感の花壇やハンギングバスケット・苔玉やハーブティ等と共に古賀の医王寺から運んだ竹で飾ったトンネルを「園芸福祉の庭」に作って参加します。少し欲張った企画ですが、楽しい行事になるはず。是非御参加ください。

トンネルや花壇の作成にお手伝いいただけるとありがたいです。10月25・29日予定です。

担当 青崎

◆ 森づくり草刈進む！



9月9日の森づくりの日は秋の好天気恵まれ、16名の会員がグリーンパークの植林地に集まり、植栽樹の背丈を超える草を刈り、巻き付いたつる切りに取り組みました。

作業はさすがに手慣れた会員でチームワークよく、予想を超えた個所まで草刈が終ったことは大成果でした。草を刈った個所はより一層「森」に一歩確実に近づきました。

作業後の懇談は、冷えたコーヒー缶で和気あいあいの楽しい一時になりました。草刈後、コスモス館周辺でゴミや空き缶を5袋拾い車道や植林地がきれいになりました。

◆ 刈払機活躍！

グリーンパークの22年度植林予定地や一部歩道は著しいクズに覆われています。いまこのクズの繁茂対策に刈払機が活躍しています。

現在この時期に繁茂するクズを刈っておかないと、隣接する“ふるさと10万本の森づくり”植林地にクズがさらに侵入して植林木が覆われることから、刈払機で刈払いを行っています。一方、9月26日の育林行動日草刈対象地に通じる歩道にもクズが茂っていて、この周辺のクズも刈っています。また、育林行動日に備えてコスモス館周辺道路側の草刈も進めました。

◆ まつり古賀に出店

今年も11月15日のまつり古賀に花苗やコケ玉など販売出店します。そのほかに扱出していただけの品物（手作り品や不要の品物）も受け付けます。活動費獲得にご協力をお願いします。

会員の声

“毎日がサンデー”になった時は よろしく！

「緑の会を知っていますか？ 緑や花木が好きですか？」 7年前、地域福祉会で古瀬（奥さま）さまに声をかけられ、会のことを知りました。当時ベテラン福祉員さんで、人望も厚く何事にもテキパキと活動されておられました。私も勧められるまま、年に数回の活動に参加しておりました。

緑や花木が好きでも「松、梅、桜、紅葉」くらいの知識しかなく、作業のお手伝いや植林後の木札付けで名前を知りました。宿理、青崎さま他有志の方たちのご指導や助言でいろいろなことを学びました。育林活動では、植樹祭の準備、苗の配置、竹炭作りなど珍しい事ばかりでした。炭焼き窯作りの作業は楽しかったのですが、赤土を一輪車で何回も運び、1～2日動けなかったこと。植樹祭の時、苗の間を空け、肥料と土を入れるなど指導を受けて、大勢の参加者の方たちと楽しく作業しましたが、途中で密植状態を見て、宿理さまが「これはひどいなあ～？ その内何本かは枯れるから、まあいいよ。」と、おおらかな言葉が印象的でした。その木々も数年で里山の四季を見せてくれると思います。

春夏秋冬の作業に参加した育林活動、楽しかった野外バーベキュー会や忘年・新年・懇親会、女子畑の植林にバスで行ったことなど、良い思い出となっています。ありがとうございました。

近年、緑の通信では、喜ばしいニュースやはなちどりのお知らせなど楽しく拝読しています。61号「ダブル7名の侍」さま、お疲れさまでした。居ながらにして豊かな恵みをいただき感謝いたしております。私もその内「毎日がサンデー」、その時はよろしくをお願いします。

会の皆さま方、季節がらお身体を大切にご自愛くださいませ。

蔵前 クミエ